

小学校教育実習における生徒指導の徹底に係る工夫

戸田 浩 暢*

(2017年1月15日 受理)

Thoughts on Comprehensive Guidance for Students Undertaking Elementary School Teaching Practice

Hironobu TODA*

A survey was conducted on the participants in this university's elementary school teaching practice program. The contents of the questionnaire comprised the following components concerning student guidance: 1. basic lifestyle habits; 2. awareness of rules and standards; 3. classes; 4. problematic behavior; 5. cultivating children rich in heart and mind. In relation to these components of student guidance, participants were asked to explain what things they tried to do comprehensively: (a) in terms of personal awareness before commencing elementary school teaching practice; and (b) in what they chose to say and do during teaching practice. Based on an analysis of the results, ways to improve elementary school teaching practice classes are considered.

Keywords: elementary school teaching practice 小学校教育実習, student guidance 生徒指導, class improvements 授業改善

1. はじめに

稿者は、広島女学院大学文学部幼児教育心理学科における小学校教育実習参加者の実習前と実習後における不安感の推移に関して、比較・考察した研究¹⁾を行い、他の研究²⁾同様に、小学校教育実習の事前と事後では、小学校教育実習参加者の不安感に低減がみられたことを明らかにしている。また、小学校教育実習における生徒指導に係る不安感の変化に関して、「小学校教諭希望学生」と「保育士・幼稚園教諭希望学生」の両者の違いを比較した研究を行い、両者の小学校教育実習前と小学校教育実習後における生徒指導に係る不安感の推移の違いについて明らかにし、今後の小学校教育実習参加者に対する指導の在り方について考察した³⁾。そして、小学校教育実習者へのアンケートの記述の分析を元に、生徒指導に係る5領域（「基本的生活習慣に係る指導」・「ルール・規範意識に係る指導」・「授業に係る指導」・「問題行動に係る指導」・「豊かな心を育成することに係る指導」）における不安感の変化を明らかにした⁴⁾。各領域においては、事前に不安に考えていた事項が、実際の小学校教育実習を通して変化した状況もみられる。全体としては、他の研究同様に、小学校教育実習の事前と事後では、小学校教育実習参加者の不安感の低減がみられた。これは、自らが小学校教育実習を経験することによって、過剰に抱いていた生徒指導に係る不安感を払拭することができたためと考えられる。他方、不安感の低減があまりみられなかった事項があった。これは、小学

* 広島女学院大学人間生活学部幼児教育心理学科准教授

校教育実習が短期間であるため、十分な対応の仕方が具体的には分からなかったためと考えられる。こうした小学校教育実習における生徒指導に係る学生の不安感の低減に関して、指導の在り方を考えた。

本稿では、生徒指導に係る5領域である「基本的生活習慣に係る指導」・「ルール・規範意識に係る指導」・「授業に係る指導」・「問題行動に係る指導」・「豊かな心を育成することに係る指導」に関わって、小学校教育実習前の意識として具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えた内容と小学校教育実習中に具体的に自分なりに工夫して徹底した内容を比較・考察するとともに、今後の事前指導を含めた授業の在り方に関する改善策について考察したい。

2. 本研究の目的と方法

本研究の目的は、本学が実施している小学校教育実習における生徒指導（「基本的生活習慣に係る指導」・「ルール・規範意識に係る指導」・「授業に係る指導」・「問題行動に係る指導」・「豊かな心を育成することに係る指導」）に関して、小学校教育実習前の意識として具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えた内容と小学校教育実習中に具体的に自分なりに工夫して徹底した内容についてアンケートを実施し、その結果を分析して、今後の事前指導を含めた授業の在り方に関して改善策を考察することである。

研究の方法としては、次の表1「小学校教育実習における生徒指導に係るアンケート（事前・実習中）」に示した質問のアンケートの自由記述を、小学校教育実習の事後指導（2016年10月4日）で実施し、得られたデータを分析していく。アンケートに回答した人数は34名である。

表1 小学校教育実習における生徒指導に係るアンケート（事前・実習中）

	次の質問項目に関して、具体的に自分なりに「工夫」（事前：しようと考え）（事後：でき）徹底したことを記述してください。特に考えていなかった場合は、空白にしてください。
	質 問 項 目
1	日常の学校生活における「挨拶の指導」の徹底に係る工夫
2	日常の学校生活における「言葉遣いの指導」の徹底に係る工夫
3	「服装・身だしなみの指導」の徹底に係る工夫
4	「衛生習慣・健康管理の指導」の徹底に係る工夫
5	「整理・整頓の指導」の徹底に係る工夫
6	「給食の時間を利用して行う食事の指導」の徹底に係る工夫
7	「登下校の時間・ルールの指導」の徹底に係る工夫
8	「学級のルール作りの指導」の徹底に係る工夫
9	「休憩時間の使い方・遊びのルールの指導」の徹底に係る工夫
10	「清掃活動における指導」の徹底に係る工夫
11	「規範意識を育てる全般的な指導」の徹底に係る工夫
12	「授業時における言葉遣いの指導」の徹底に係る工夫

小学校教育実習における生徒指導の徹底に係る工夫

13	授業時における「私語への指導」の徹底に係る工夫
14	「教科指導における学習ルールの指導」の徹底に係る工夫
15	「器物破損への対応と指導」の徹底に係る工夫
16	「暴力行為への指導」の徹底に係る工夫
17	「いじめへの指導」の徹底に係る工夫
18	「不登校への指導」の徹底に係る工夫
19	「豊かな心を育成する日常生活での指導」の徹底に係る工夫
20	「道徳の時間を活用した豊かな心を育成する指導」の徹底に係る工夫

* 「基本的生活習慣に係る指導」 1～6・「ルール・規範意識に係る指導」 7～11・「授業に係る指導」 12～14・「問題行動に係る指導」 15～18・「豊かな心を育成することに係る指導」 19～20

3. 小学校教育実習における生徒指導の徹底に係る工夫

この節は、アンケート項目の記述に従って、小学校教育実習前の意識として具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えた内容と小学校教育実習中に具体的に自分なりに工夫して徹底した内容を比較・分析していく。なお、枠内の上段が小学校教育実習前の意識に関する記述であり、下段が小学校教育実習中に自己の言動に関する記述である。なお、記述の後ろの数字は人数を示している。

(1) 挨拶の指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

①「挨拶の指導」 空欄：事前（8人：23.5%）→事後（6人：17.6%）
・笑顔で大きな声で気持ちの良い挨拶をする姿を児童に見せる。17 ・自分から進んで挨拶をする。10 ・児童が挨拶をしなかった場合、挨拶をするように促す。2 ・朝の挨拶運動に積極的に参加する。2 ・児童の挨拶から感じたことを伝え、褒める活動を行う。
・廊下や教室にいる児童に自分から気持ちの良い挨拶をして、児童の見本になるように工夫した。27 ・児童が気持ちの良い挨拶をしたときは、「気持ちが良いね」と伝える。3

「挨拶の指導」に関しては、事前では、直接、挨拶を促す指導を想定していた学生は少なく、「笑顔で大きな声で気持ちの良い挨拶をする姿を児童に見せる。」が17人、「自分から進んで挨拶をする。」が10人、「朝の挨拶運動に積極的に参加する。」が2人と、合計29人の学生が自らの挨拶の姿を児童に見せることにより、指導を徹底しようと考えていたことが分かる。「児童の挨拶から感じたことを伝え、褒める活動を行う。」という、評価を伴った指導の工夫を考えていた学生もみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫でも、「廊下や教室にいる児童に自分から気持ちの良い挨拶をして、児童の見本になるように工夫した。」が27人と、学生が自らの挨拶の姿を児童に見せることにより、指導を徹底しようと考えていたことが分かる。評価を伴った指導の工夫を行った学生もみられた。なお、この事項に関しては、空欄が少なく、事前が8人（23.5%）で、事後が6人（17.6%）と、2割前後であった。

(2) 言葉遣いの指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

②「言葉遣いの指導」 空欄：事前（14人：41.2%）→事後（14人：41.2%）
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が児童の見本となるような丁寧な言葉遣いに気を付ける. 9 ・児童に適切な言葉を使うように指導をする. 4 ・児童に敬語で先生方と話をするように指導を行う. 3 ・児童に日頃から汚い言葉やマイナスな意味となる言葉遣いをしないように指導をする. 2 ・児童が乱暴な言葉遣いをした場合、丁寧な言葉遣いに言い直させる. ・「マジ」や「ヤバッ」などの若者言葉を使わないように指導をする. ・児童に対して、教師に使う言葉と友達同士で使う言葉の違いを理解させる.
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの会話で丁寧な話し方を心掛け、児童の手本となるようにした. 11 ・言葉遣いが悪い児童に、常に注意を促し、丁寧な言葉遣いを意識できるようにした. 4 ・暴言について、自分が言われたことと置き換えて考えさせた. 4 ・間違っている言葉を繰り返し、言葉遣いの間違いに気付かせる.

「言葉遣いの指導」に関しては、事前では、「自分自身が児童の見本となるような丁寧な言葉遣いに気を付ける。」が9人と、学生が自らの言葉遣いを児童に聞かせることにより、指導を徹底しようと考えていたことが分かる。「児童に適切な言葉を使うように指導をする.」「児童に敬語で先生方と話をするように指導を行う.」「児童に日頃から汚い言葉やマイナスな意味となる言葉遣いをしないように指導をする.」と、直接的に指導をしようと考えた学生も多くみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫でも、「子どもとの会話で丁寧な話し方を心掛け、児童の手本となるようにした。」が11人と、学生が自らの言葉遣いを児童に聞かせることにより、指導を徹底しようと考えていたことが分かる。また、「言葉遣いが悪い児童に、常に注意を促し、丁寧な言葉遣いを意識できるようにした。」という直接的な指導以外に、「暴言について、自分が言われたことと置き換えて考えさせた.」といった児童自身に考えさせる指導の工夫を行った学生もみられた。なお、この事項に関しては、空欄が事前・事後とも14人（41.2%）と4割程度であった。

(3) 服装・身だしなみの指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

③「服装・身だしなみの指導」 空欄：事前（15人：44.1%）→事後（13人：38.2%）
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の模範になるように、誰が見ても清潔感があるように心掛ける. 7 ・自らの服装・身だしなみを整え、子どもの模範となるようにして声掛けをする. 5 ・服をズボンに入れる指導を行う. 4 ・ハンカチやティッシュを常備させる. 2 ・集合したときにチェックする. ・名札を付けるよう声掛けをする.
<ul style="list-style-type: none"> ・シャツが出ていたりすると（ボタン外れやえりが立っている、名札忘れ、靴下のゆがみ、ズボンのひもが出ている等）注意し、自分で直すようにさせた. 10 ・自ら服装や身だしなみを整え、子どもに模範となるようにした. 8 ・「〇〇君、シャツが出ていますよ」と伝え、どうすべきか考えさせた. 3 ・児童の模範になるように、服装・身だしなみに気を付けた.

「服装・身だしなみの指導」に関しては、事前では、「児童の模範になるように、誰が見ても清潔

感があるように心掛ける。」や「自らの服装・身だしなみを整え、子どもの模範となるようにして声掛けをする。」と、合計12人の学生が自らの服装・身だしなみを児童に見せることにより、指導を徹底しようと考えていたことが分かる。「服をズボンに入れる指導を行う。」「ハンカチやティッシュを常備させる。」と、直接的に指導をしようと考えた学生もみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫でも、「自ら服装や身だしなみを整え、子どもに模範となるようにした。」という模範を示すこと以外に、「シャツが出ていたりすると（ボタン外れやえりが立っている、名札忘れ、靴下のゆがみ、ズボンのひもが出ている等）注意し、自分で直すようにさせた。」といった、実習前に想定していた以上に具体的な指導がみられた。なお、この事項に関しては、空欄が事前15人（44.1%）で、事後が13人（38.2%）と、共に4割前後であった。

（4）衛生習慣・健康管理の指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

④「衛生習慣・健康管理の指導」 空欄：事前（22人：64.7%）→事後（21人：61.8%）
<ul style="list-style-type: none"> ・外から戻るときや給食の前などは、手洗いを石けんを使って行うように促す。 8 ・うがいをするように促す。 2 ・睡眠時間をなるべく多く取るよう促す。 2 ・3食をバランス良く食べるよう声掛けをする。 ・朝ご飯を食べるように促す。 ・ハンカチやティッシュを常備するように注意する。 ・風邪を引かないように注意する。 ・歯磨きを徹底して行うように声掛けをする。
<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、水分補給をするように呼び掛けた。 9 ・給食の配膳前は、当番はマスクをさせアルコールを手に拭きかけるようにさせた。 3 ・ハンカチやティッシュを常備させた。

「衛生習慣・健康管理の指導」に関しては、事前では、「外から戻るときや給食の前などは、手洗いを石けんを使って行うように促す。」などの他、直接的な指導に係る多くの事例についての記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫でも、「手洗い、うがい、水分補給をするように呼び掛けた。」など同様の指導を行っているが、指導事例が少なくなっていることが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が22人（64.7%）で、事後が21人（61.8%）と、6割以上であった。

（5）整理・整頓の指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑤「整理・整頓の指導」 空欄：事前（15人：44.1%）→事後（14人：41.2%）
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、机の中を綺麗にさせるよう声を掛ける。 5 ・自分の持ち物を整理・整頓させるよう指導する。 4 ・ロッカーから落ちていたものがあれば必ず戻させる。また、児童に気付かせる。 3 ・授業が受けやすいように机の上は綺麗にしておくよう声掛けをする。 3 ・自分自身が使用させて頂いている机をいつも整理して児童の模範となるようにする。 2 ・プリント類をファイルに分けるように指導する。 2 ・学校は共同空間であることを意識させる。 ・綺麗に整っている状態が気持ちよと感じられるよう声掛けを工夫しようと考えた。

- ・ロッカー、机の上や中、身の回りの物を整理整頓するように促した。 10
- ・自分自身が机の中を綺麗にして児童の模範になるようにした。 3
- ・道具箱が汚い児童には声を掛け、一緒に整理をした。
- ・水筒を掛ける姿を見せることで、児童に意識させるようにした。
- ・風でプリントが飛ばないように、配られた物は机の中に入れるように声を掛けた。
- ・プリントをファイルで整理するように促した。
- ・机の上は決まった置き方で筆箱や教科書をおけるように声を掛けた。
- ・整理整頓に関して、褒めることで気持ちの良さや嬉しさを伝えた。
- ・学校は共同空間であることを意識させた。

「整理・整頓の指導」に関しては、事前では、「毎日、机の中を綺麗にさせるよう声を掛ける。」や「自分の持ち物を整理・整頓させるよう指導する。」など、直接的な指導を想定していたことが分かる。実習中の指導の徹底に係る工夫でも、「ロッカー、机の上や中、身の回りの物を整理整頓するように促した。」といった直接的な指導がみられたが、「自分自身が机の中を綺麗にして児童の模範になるようにした。」といった模範を示す行動が増えるとともに、「整理整頓に関して、褒めることで気持ちの良さや嬉しさを伝えた。」といった、評価を伴った指導の工夫を行った学生もみられた。なお、この事項に関しては、空欄が事前が15人（44.1%）で、事後が14人（41.2%）と、4割以上であった。

（6）給食の時間を利用して行う食事の指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑥「給食の時間を利用して行う食事の指導」 空欄：事前（20人：58.8%）→事後（17人：50.0%）

- ・好き嫌いせずに残さずしっかり食べるように声を掛ける。 7
- ・静かにさせ、しゃべらずに食べるよう指導する。 4
- ・正しく箸を持たせる。
- ・給食に集中しておらず、これからの活動に間に合わない様子の児童に声掛けをする。
- ・きちんとエプロン・マスク・三角巾をつけさせる。
- ・自分も進んで配膳を手伝い、食器の位置などを徹底させる。
- ・必ず「いただきます」などの挨拶をしっかりとるように考えた。
- ・給食の時間までに食べ終わりそうにない児童にはしゃべらず食べるように声を掛けた。 5
- ・話をして楽しみながらも児童の食べる時間を調整した。 2
- ・好き嫌い無く食べさせる指導をした。 2
- ・自分も配膳に加わり、適切な配膳ができるように指導を行った。 2
- ・一気に口に詰めこまず、少しずつ美味しく食べるように声掛けを行った。 2
- ・「給食＝デンジャラスタイム」ということを教わり、安全に気を付けた。 2
- ・自分が食べられる量を調整させ、残菜が出ないようにさせた。
- ・食に関する関心を高めるような話をした。
- ・「いただきます」などの挨拶をきちんとさせた。
- ・前を向いて食べるように指導を行った。
- ・マスク、エプロン、防止、手洗いをきちんとさせた。

「給食の時間を利用して行う食事の指導」に関しては、事前では、「好き嫌いせずに残さずしっかり食べるように声を掛ける。」や「静かにさせ、しゃべらずに食べるよう指導する。」など、直接的な指導を想定していたことが分かる。実習中の指導の徹底に係る工夫でも、「給食の時間までに食べ

終わりそうにない児童にはしゃべらず食べるように声を掛けた。」など同様の指導を行っているが、指導事例が多くなっていることが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が事前が20人（58.8%）で、事後が17人（50.0%）と、5割以上であった。

（7）登下校の時間・ルールの指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

<p>⑦「登下校の時間・ルールの指導」 空欄：事前（25人：73.5%）→事後（22人：64.7%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決められたことは必ず守らせる。 2 ・さようならなどの挨拶をしっかりと行わせる。 ・道で会ったら挨拶をする指導を行う。 ・時間を守り、安全に帰ることができるようにする。 ・学校に残っている児童には声を掛けて下校するよう伝えようと考えた。 ・時間までに外に出て並べるよう声掛けを行う。 ・歩道からはみ出さないようにする。 ・登校班で登校するとき、歩道で横に広がりすぎないようにすることに気を付けさせる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・17時には遊びを止めさせ、下校するように促した。 3 ・時計を見て、何分に集合なのか児童に問いかけ、下校の時間を意識させた。 3 ・寄り道をしないように声を掛けた。 3 ・静かに並んで下校の準備をさせた。 ・「さよなら」と見送り、列を揃えて帰るよう指導した。 ・挨拶をする指導を行った。

「登下校の時間・ルールの指導」に関しては、事前では、「決められたことは必ず守らせる。」や「さようならなどの挨拶をしっかりと行わせる。」などの他、直接的な指導に係る多くの事例についての記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫でも、「17時には遊びを止めさせ、下校するように促した。」や「時計を見て、何分に集合なのか児童に問いかけ、下校の時間を意識させた。」など同様の指導を行っているが、指導事例が少なくなっていることが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が25人（73.5%）で、事後が22人（64.7%）と6割前後であった。

（8）学級のルール作りの指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

<p>⑧「学級のルール作りの指導」 空欄：事前（25人：73.5%）→事後（27人：79.4%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下を走っている児童には、歩くように注意する。 2 ・遊ぶときと勉強するときのメリハリをつける。 2 ・学級のルールを守られるよう日頃から意識させる。 2 ・クラスのルールを自分も守り、一緒に守っていけるようにする。 2 ・絶対にしてはいけないこと、ルールを守らない行動は絶対に見逃さず、その場で指導する。 ・いじめがないように、人を思いやる気持ちを持たせるよう声掛けをする。 ・子どもたちの意見をしっかりと聞いてルール作りをするよう考えた。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・学級のルールを守られるように呼び掛けた。 3 ・学級のルールにそって自分も活動するように心掛け、児童の見本になるようにした。 3 ・きちんとルールを守っている児童には褒めるように心掛けた。

「学級のルール作りの指導」に関しては、事前では、「廊下を走っている児童には、歩くように注意する。」や「遊ぶときと勉強するときのメリハリをつける。」などの他、直接的な指導に係る事例についての記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫でも、「学級のルールを守られるように呼び掛けた。」など同様の指導を行っているが、指導事例が少なくなっていることが分かる。また、「学級のルールにそって自分も活動するように心掛け、児童の見本になるようにした。」といった模範を示す行動が増えるとともに、「きちんとルールを守っている児童には褒めるように心掛けた。」といった、評価を伴った指導の工夫を行った学生もみられた。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が25人(73.5%)で、事後が27人(79.4%)と7割以上であった。

(9) 休憩時間の使い方・遊びのルールの指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑨「休憩時間の使い方・遊びのルールの指導」 空欄：事前（15人：44.1%）→事後（12人：35.3%）
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に外で一緒に子どもたちとたくさん遊ぶ。 5 ・ルールを守って遊べるようにする。 3 ・仲良く遊べるように声掛けを行う。 2 ・遊びの時間を守らせる。 2 ・安全に遊びを行い、楽しく活動するように呼び掛ける。 2 ・仲間外れがないように、みんなでできる遊びを提案する。 2 ・みんなが楽しく遊ぶためにはどうすればよいのか考えさせる。 ・外では元気よく遊び、中では怪我の無いよう落ち着いて遊べるようにする。 ・誰かが嫌な思いや不公平にならないよう声掛けを行う。 ・廊下を走らせないように指導する。 ・場所に合った適切な遊び方を促す。・廊下で遊んでいる児童には注意するよう考えた。
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に外で一緒に子どもたちとたくさん遊ぶ。 7 ・みんなが楽しめるルールを作るように声を掛けた。 6 ・安全に遊べるよう注意をした。 3 ・5分前行動を徹底させた。 2 ・外で遊ぶように声を掛けた。 ・運動場でも走ってはいけないところでは走らないように注意をした。 ・一緒に遊んで、他学年と交流しつつ、ルールについて確認させた。 ・児童に学習の準備を促したり、後の活動の時間を伝えたりした。

「休憩時間の使い方・遊びのルールの指導」に関しては、事前では、「積極的に外で一緒に子どもたちとたくさん遊ぶ。」といった、自らの行動に関する記述とともに、「ルールを守って遊べるようにする。」といった、直接的な指導に係る記述が多くみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫の記述も同様な傾向を示しているが、「安全に遊べるよう注意をした。」といった、安全面に関する記述もみられた。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が15人(44.1%)で、事後が12人(35.3%)と4割前後であった。

(10) 清掃活動における指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑩「清掃活動における指導」 空欄：

- ・一緒に掃除を行い、児童の手本となるよう自らの掃除の姿を見せる。 7
 - ・掃除時間は静かに掃除をさせる。 4
 - ・丁寧に素早く掃除ができるようにさせる。 3
 - ・積極的に掃除に取り組み、正しく掃除をするように指導する。 3
 - ・時間いっぱい頑張る掃除をさせるように声掛けを行う。 2
 - ・清掃活動を児童がする様子を見回することを考えた。
 - ・全員で協力して教室を綺麗にできるよう、一人一人に声を掛ける。
-
- ・遊ばずに全員が掃除をするよう声掛けを行った。 8
 - ・ほうきの持ち方、はき方、ぞうきんの拭き方、机の運び方をやって見せながら指導を行った。 7
 - ・隅々まで綺麗にするように呼び掛けた。 3
 - ・掃除が上手な児童に対しては積極的に褒めるようにした。 3
 - ・無言清掃を心掛けさせた。 3
 - ・時間内にきちんと綺麗に掃除ができるよう心掛けさせた。 2

「清掃活動における指導」に関しては、事前では、「一緒に掃除を行い、児童の手本となるよう自らの掃除の姿を見せる。」といった、自らの行動を模範的に児童に見せることにより、指導を徹底しようと考えていたことが分かる。また、「掃除時間は静かに掃除をさせる。」や「丁寧に素早く掃除ができるようにさせる。」といった直接的な指導に係る記述が多くみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫では、「ほうきの持ち方、はき方、ぞうきんの拭き方、机の運び方をやって見せながら指導を行った。」といった、模範的な行動を示した記述もみられたが、「遊ばずに全員が掃除をするよう声掛けを行った。」という記述が上回り、より直接的な指導を行っていたことが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が16人（47.1%）で、事後が14人（41.2%）と4割以上であった。

(11) 規範意識を育てる全般的な指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑪「規範意識を育てる全般的な指導」 空欄：事前（27人：79.4%）→事後（28人：82.4%）

- ・好ましくない行動をしている児童にはその場で声掛けを行う。 3
 - ・勉強時間と遊ぶ時間のメリハリをつけさせる。 2
 - ・時間を守らせる。
 - ・自分がされて嫌なことは相手にもしないということを粘り強く伝える。
 - ・学校でのルールを自分も守りながら、一緒に守っていけるように声を掛ける。
-
- ・時間を守らせる指導を行った。 2
 - ・廊下を走っている児童に注意を行った。
 - ・忘れ物をさせない指導を行った。
 - ・挨拶をする指導を行った。
 - ・駄目なことは駄目だと徹底した指導を行った。
 - ・約束は必ず守らせるようにさせた。
 - ・好ましくない行動を行っている児童には、その場で直ぐに声を掛け、指導をした。

「規範意識を育てる全般的な指導」に関しては、事前では、「好ましくない行動をしている児童にはその場で声掛けを行う。」や「勉強時間と遊ぶ時間のメリハリをつけさせる。」などの他、直接的な指導に係る事例についての記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫でも、「時間を守らせ

る指導を行った。」や「廊下を走っている児童に注意を行った。」など同様の指導を行っているが、指導事例が多くなっていることが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が27人（79.4%）で、事後が28人（82.4%）と8割前後であった。

(12) 授業時における言葉遣いの指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑫「授業時における言葉遣いの指導」 空欄：事前（15人：44.1%）→事後（17人：50.0%）
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの模範になるように自分自身の言葉遣いを正しく行い、声掛けや発問をする。 14 ・教師への言葉遣いを考えさせる。 2 ・丁寧な言葉を心掛けさせる。 2 ・自分の発言に対して他の児童の意見を聞いたり、発言した児童に対して反応ができるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が丁寧な言葉を使い、児童の見本になるように心掛けた。 6 ・発表をする際の話し方を徹底させた。 4 ・返事、「です」「ます」をきちんと言えるように指導した。 3 ・丁寧な言葉で発言するように促した。 3 ・他の児童の意見などについての返事をしっかりするよう褒めたり声掛けを行った。

「授業時における言葉遣いの指導」に関しては、事前では、「子どもの模範になるように自分自身の言葉遣いを正しく行い、声掛けや発問をする。」といった、自らの言葉遣いを模範的に児童に聞かせることにより、指導を徹底しようと考えていたことが分かる。また、「教師への言葉遣いを考えさせる。」といった、直接的な指導に係る記述もみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫では、「自分自身が丁寧な言葉を使い、児童の見本になるように心掛けた。」といった模範を示す記述はみられたが、記述数は減少し、逆に、「発表をする際の話し方を徹底させた。」や「返事、『です』『ます』をきちんと言えるように指導した。」といった、直接的な指導に係る記述が増加していることが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が15人（44.1%）で、事後が17人（50.0%）と5割程度であった。

(13) 私語への指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑬「私語への指導」 空欄：事前（16人：47.1%）→事後（18人：52.9%）
<ul style="list-style-type: none"> ・近づいて、授業では話をしないよう注意をする。 8 ・注意をするのではなく、授業に興味を向けさせるような声掛けを行い、児童の注目を集められるような授業をする。 5 ・今は何をするときなのか児童に聞いて、自分で考えて授業を聞くことができるようにする。 4 ・私語をしていたら周囲に迷惑になることを論ず。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な無い話はしないことを注意して徹底させた。 8 ・今は何の時間が考えさせるようにした。 6 ・聞いていないと授業が分からなくなることに気付かせた。 ・視覚的に注目できる教材を用意して、話を聞けるように工夫した。

「私語への指導」に関しては、事前では、「近づいて、授業では話をしないよう注意をする。」や「今は何をするときなのか児童に聞いて、自分で考えて授業を聞くことができるようにする。」といっ

た、直接的な指導に係る記述がみられるとともに、「注意をするのではなく、授業に興味を向けさせるような声掛けを行い、児童の注目を集められるような授業をする。」といった、自己の授業構成や発問の工夫についての記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫では、「視覚的に注目できる教材を用意して、話を聞けるように工夫した。」といった自己の授業の工夫についての記述はみられたが、大幅に減少し、「授業に必要な無い話はしないことを注意して徹底させた。」や「今は何の時間か考えさせるようにした。」といった、直接的な指導に係る記述が増加していることが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が16人(47.1%)で、事後が18人(52.9%)と5割前後であった。

(14) 教科指導における学習ルールの指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

<p>⑭「教科指導における学習ルールの指導」 空欄：事前（28人：82.4%）→事後（30人：88.2%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方の授業を参考にし、自分で真似をしてみる。 3 ・授業開始前に教科書類を準備させる。 2 ・「わからない」で終わらせることなく、まずは自分で考えてみるように指導する。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・分からないときは諦めずに色々な方法で考えさせた。 ・書いていないことがあれば、側に寄り添い、書くように声掛けを行った。 ・ノートの書き方のルールを徹底させた。 ・分からないことがあれば、直ぐに挙手させた。

「教科指導における学習ルールの指導」に関しては、事前では、「先生方の授業を参考にし、自分で真似をしてみる。」といった自己の課題についての記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫では、そのような記述はみられず、「分からないときは諦めずに色々な方法で考えさせた。」や「書いていないことがあれば、側に寄り添い、書くように声掛けを行った。」といった直接的な指導に係る記述のみがみられた。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が28人(82.4%)で、事後が30人(88.2%)と8割以上であった。

(15) 器物破損への対応と指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

<p>⑮「器物破損への対応と指導」 空欄：事前（25人：73.5%）→事後（32人：94.1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怪我の有無を把握し、事実確認をした後、担当教員に直ぐに連絡をする。 4 ・物を大切にし、器物破損は絶対にしないことを指導する。 2 ・器物破損を行った児童から事情を聞く。 2 ・器物破損を行ったら自分と家族が困ることを考えさせる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・物を大切に扱うよう伝えた。 ・器物破損を行った児童としっかり話をした。
--

「器物破損への対応と指導」に関しては、事前では、「怪我の有無を把握し、事実確認をした後、担当教員に直ぐに連絡をする。」という、安全確認や報告・連絡といった記述がみられた。また、「物を大切にし、器物破損は絶対にしないことを指導する。」といった直接的な指導に係る記述がみられ

た。実習中の指導の徹底に係る工夫では、「物を大切に扱うよう伝えた。」といった記述がみられはするが、記述数は2名と大幅に減少していることが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が25人（73.5%）で、事後が32人（94.1%）と、20%以上事後が増加し、9割以上であった。

(16) 暴力行為への指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑯「暴力行為への指導」 空欄：事前（23人：67.6%）→事後（24人：70.6%）
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いから事情を聞き、事実確認を行う。 4 ・暴力行為は絶対にしてはいけないことを指導する。 3 ・手が出そうだったら、直ぐに止めに入る。 3 ・先生に報告をする。 2 ・被害者と加害者の両方に寄り添う。
<ul style="list-style-type: none"> ・暴力行為を行いそうになったら直ぐに止めに入り指導した。 3 ・暴力行為を行った児童に対して相手の気持ちになって考えるように促した。 2 ・お互いの話を聞いて、納得できるようにした。 2 ・事実確認をきちんとした。 ・担任に直ぐに報告した。 ・暴力行為は絶対にいけないということをその都度伝えた。

「暴力行為への指導」に関しては、事前では、「お互いから事情を聞き、事実確認を行う。」や「暴力行為は絶対にしてはいけないことを指導する.」, 「手が出そうだったら、直ぐに止めに入る。」といった直接的な指導に係る記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫でも同様の記述がみられたが、「暴力行為を行った児童に対して相手の気持ちになって考えるように促した。」といった児童自身に考えさせる指導の工夫を行った学生もみられた。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が23人（67.6%）、事後が24人（70.6%）と、7割前後であった。

(17) いじめへの指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑰「いじめへの指導」 空欄：事前（24人：70.6%）→事後（32人：94.1%）
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめをした理由を聞き、いじめをされた人の気持ちを考えられるようにする。 3 ・お互いから事情を聞き、事実確認を行う。 2 ・先生に直ぐに報告をする。 2 ・どのような小さいいじめでも見逃さないようにする。 ・お互いに仲良くし、助け合うことを伝える。 ・被害者と加害者の両方に寄り添う。
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちになって考えられるように促した。 ・いじめに繋がるどのような小さなことでも、「大丈夫？」と声掛けを行った。

「いじめへの指導」に関しては、事前では、「いじめをした理由を聞き、いじめをされた人の気持ちを考えられるようにする。」や「お互いから事情を聞き、事実確認を行う.」, 「先生に直ぐに報告をする。」といった直接的な指導に係る記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫では、「相手の気持ちになって考えられるように促した。」といった記述がみられはするが、記述数は2名と大

幅に減少していることが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が24人（70.6%）、事後が32人（94.1%）と、20%以上事後が増加し、9割以上であった。

(18) 不登校への指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑱「不登校への指導」 空欄：事前（28人：82.4%）→事後（33人：97.1%）
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の児童ときちんと向き合う。 2 ・不登校の原因や対策を理解するようにして指導を行う。 2 ・児童から話を聞く。 ・長い目で見て、児童に寄り添う。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校に来た際にはしっかりと向き合う。 1

「不登校への指導」に関しては、事前では、「不登校の児童ときちんと向き合う。」や「不登校の原因や対策を理解するようにして指導を行う。」といった直接的な指導に係る記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫では、「学校に来た際にはしっかりと向き合う。」といった記述がみられはするが、記述数は1名と大幅に減少していることが分かる。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が28人（82.4%）、事後が33人（97.1%）と、15%以上事後が増加し、10割近くであった。

(19) 豊かな心を育成する日常生活での指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

⑲「豊かな心を育成する日常生活での指導」 空欄：事前（26人：76.5%）→事後（25人：73.5%）
<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」や「ごめんね」などの言葉を大切にする。 3 ・挨拶をしっかりとさせる。 2 ・正解にとらわれず、様々な意見を尊重するようにする。 ・温かい眼差しで、一人一人との関わりを大切にする。 ・児童の感じたことをしっかりと受け止め、必ず応答するようにする。 ・自然や他者との関わりを大切にさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の話をしっかりと聞き、必ず応答をする。 3 ・良い行動をしている児童を褒め、他の児童にも伝えるようにした。 3 ・一人一人と温かな眼差しを持って関わる。 ・「ごめん」や「ありがとう」の徹底や助け合いなどを促した。 ・喧嘩が起きたら双方が納得するまで話し合わせお互いを理解するように指導した。

「豊かな心を育成する日常生活での指導」に関しては、事前では、「『ありがとう』や『ごめんね』などの言葉を大切にする。」や「挨拶をしっかりとさせる。」といった直接的な指導に係る記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫では、同様の記述もみられはしたが、「児童の話をしっかりと聞き、必ず応答をする。」といった自らの言動を模範的に児童に見せることにより、指導を徹底しようと考えていたことが分かる。また、「良い行動をしている児童を褒め、他の児童にも伝えるようにした。」といった、評価を伴った指導の工夫を行った学生もみられた。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が26人（76.5%）で、事後が25人（73.5%）と、7割以上であった。

(20) 道徳の時間を活用した豊かな心を育成する指導

この項では、次に示す記述の結果を元に分析を行う。

<p>⑳「道徳の時間を活用した豊かな心を育成する指導」 空欄：事前（25人：73.5%）→事後（24人：70.6%）</p> <p>・児童の身近なことで考えさせる. 2 ・児童の発言をしっかりと聞き、気持ちを読み取る. 2 ・教材文では登場人物の気持ちを考えられるようにする. 2 ・自分のことに置き換えて考えさせる. 2 ・他者の気持ちを考えられるようにする.</p> <p>・自分のことに置き換えて考えさせるようにした. 5 ・子どもの気持ちや発言、考えを大切にした. 2 ・一生懸命考えられるように声を掛けながら一緒に考える. 2 ・自分の意見を書けていない児童には、「今思っていることを書いたらいい」と声を掛けた.</p>
--

「道徳の時間を活用した豊かな心を育成する指導」に関しては、事前では、「児童の身近なことで考えさせる。」や「教材文では登場人物の気持ちを考えられるようにする。」といった授業技術に関わる記述がみられた。実習中の指導の徹底に係る工夫では、同様の記述はみられたが、「自分のことに置き換えて考えさせるようにした。」といった児童自身に考えさせる指導の工夫を行った学生もみられた。なお、この事項に関しては、空欄が、事前が25人（73.5%）で、事後が24人（70.6%）と、7割以上であった。

4. おわりに

おわりに、前節で分析した内容に考察を加え、今後の事前指導を含めた授業の在り方に関して改善策を提言したい。

「基本的生活習慣に係る指導」に係る①「挨拶の指導」では、事前・実習中も8割前後の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、日頃から実習におけるコミュニケーションの大切さを意識しているため、このような結果になったのではなかろうか。特に事前指導等で強調しなくても良い事項のように考えられる。②「言葉遣いの指導」では、事前・実習中も6割前後の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、日常生活において児童の模範となるような言葉遣いになるよう気を付けているため、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、日頃の自己の言葉遣いを意識した発言を心掛けるよう促す必要があると考えられる。③「服装・身だしなみの指導」では、事前・実習中も6割前後の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、実習では児童の模範となるような服装・身だしなみになるよう気を付けているため、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、日頃の自己の服装・身だしなみを意識させる必要があると考えられる。④「衛生習慣・健康管理の指導」では、事前・実習中も4割前後の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、今までの幼稚園実習・保育実習等で気を付けているため、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、再度、衛生習慣・健康管理について気を付けるように促す必要があると考えられる。⑤「整理・整頓の指導」では、事前・実習中も6割前後の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、実習では実際に整理・整頓に関して指導をしないといけない場面が多々あるため、このような結果

になったのではなかろうか。事前指導等では、より具体的な場面を想定した声掛けの工夫を考えさせる必要があると考えられる。⑥「給食の時間を利用して行う食事の指導」では、事前・実習中も5割程度の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、実習では実際に給食の時間に関して指導をしないといけない場面が多々あるため、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、⑤と同様な指導の必要があると考えられる。

「ルール・規範意識に係る指導」に係る⑦「登下校の時間・ルールの指導」では、事前・実習中も4割前後の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、小学校で既に徹底が図られている事項と考えており、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、各小学校における指導の違いに気を付けるよう促す必要があると考えられる。⑧「学級のルール作りの指導」では、事前・実習中も3割以下の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、小学校で既に徹底が図られている事項と考えており、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、⑦と同様な指導の必要があると考えられる。⑨「休憩時間の使い方・遊びのルールの指導」では、事前・実習中も6割前後の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、⑦と同様な指導の必要があると考えられる。⑩「清掃活動における指導」では、事前・実習中も6割程度の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、実習では実際に清掃活動に関して指導をしないといけない場面が多々あるため、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、⑤と同様な指導の必要があると考えられる。⑪「規範意識を育てる全般的な指導」では、事前・実習中も2割前後の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、小学校で既に徹底が図られている事項と考えており、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、⑦と同様な指導の必要があると考えられる。

「授業に係る指導」に係る⑫「授業時における言葉遣いの指導」では、事前・実習中も5割程度の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、実習では実際に言葉遣いに関して指導をしないといけない場面が多々あるため、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、より丁寧に具体例をあげながら指導の徹底を図る必要があると考えられる。⑬「私語への指導」では、事前・実習中も5割程度の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、実習では実際に私語に関して指導をしないといけない場面が多々あるため、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、⑫と同様な指導の必要があると考えられる。⑭「教科指導における学習ルールの指導」では、事前・実習中も2割以下の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、小学校で既に徹底が図られている事項と考えており、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、⑦と同様な指導の必要があると考えられる。

「問題行動に係る指導」に係る⑮「器物破損への対応と指導」では、事前では3割程度、実習中では2人の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、小学校で既に徹底が図られている事項と考えており、このような結果になったのではなかろうか。事前指導等では、⑦と同様な指導の必要があると考えられる。⑯「暴力行為への指導」では、事前・実習中も3割前後、⑰「いじめへの指導」では、事前では3割程度、実習中では2人の学生、⑱「不登校への指導」では、事前は2割程度、実習中は1名のみの学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、⑦と同様な指導の必要があると考えられる。

「豊かな心を育成することに係る指導」に係る⑱「豊かな心を育成する日常生活での指導」と⑳「道徳の時間を活用した豊かな心を育成する指導」では、ともに事前・実習中では3割以下の学生が具体的に自分なりに工夫して徹底しようと考えており、短期間である実習中に対応することが難しい事項のため、このような結果になったのではなからうか。事前指導等では、㉑と同様な指導の必要があると考えられる。

本稿では、本学が実施している小学校教育実習における生徒指導（「基本的生活習慣に係る指導」・「ルール・規範意識に係る指導」・「授業に係る指導」・「問題行動に係る指導」・「豊かな心を育成することに係る指導」）に関して、事前・実習中に具体的に自分なりに工夫して徹底した内容についてアンケートを実施し、その結果を分析して、今後の事前指導を含めた授業の在り方に関して改善策を考察したが、今後はより詳細で具体的な方策について考察をしていく必要がある。

引用文献

- 1) 戸田浩暢：学生の教育実習に対する不安感の考察，広島女学院大学人間生活学部紀要，創刊号，pp. 47-57, 2013
- 2) 三島知剛・山崎光洋・高旗浩志・関根正美・渡邊将勝・赤崎哲也・柴田靖子・岸晶子・太田泰子・加賀勝：1年次教育実習プログラムの成果と課題の検討—平成23年度教育実習Ⅰ受講生アンケートの結果から—，岡山大学教師教育開発センター紀要，第2号，pp. 112-119, 2012など
- 3) 戸田浩暢：小学校教育実習における生徒指導に係る不安感の変化，広島女学院大学人間生活学部紀要，第2号，pp. 59-70, 2014
- 4) 戸田浩暢：小学校教育実習における生徒指導の実際，広島女学院大学論集，第63号，pp. 157-170, 2016

参考文献

- 内藤勇次編著：小学校生徒指導の実際，学事出版，2000
内藤勇次編著：小学校生徒指導の基礎・基本，学事出版，2000
高橋超・石井眞治・熊谷信順編著：生徒指導・進路指導，ミネルヴァ書房，2002